

暦日 病日	入院	手術前日	手術前	手術後	術後1日目（午後退院）
治療・処置		手術の準備をします。 必要な物品を預かります。 寝る前に下剤を飲みます。	点滴をします。 朝、排便がなかった場合は、 坐薬を使います。	手術後は、医師の指示がある まで点滴を続けます。	点滴は終了です。 抗凝固薬以外を再開します。 回診時に、尿の管を抜きます。
一般検査					血液検査をします。 
観察	体温・脈拍・血圧を測ります。 症状をお聞きします。			麻酔の覚醒状況を観察します。	
栄養	普通食または治療食を お出します。 	食事や水分の摂取可能な時間 をお伝えします。	医師、麻酔科の指示で禁飲食 になります。 	帰室4時間後から水分を摂るこ とができます。 	朝から食事が開始になります。 
活動	制限はありません。			翌日まで ベッド上安静です。 頭を上げたり、起き上がることは できませんが、体の向きを変える ことはできます。 	起床時からベッドの上に取り上がる ことができます。 回診後から歩行できます。 尿の管が入っている場合は、最初 の歩行は看護師が付き添います。
清潔	制限はありません。 シャワー浴または温かいタオルで 体を拭くことができます。				温かいタオルで体を拭きます。
説明・指導	入院後の予定を看護師が説明 します。 医師が手術について説明します。 医師の説明を受けた後、同意書 を看護師に渡してください。 中止している薬は、医師の指示が あるまで飲まないでください。	翌日の予定を説明します。 	家族の方は 手術1時間前 までに来院して下さい。 手術が終了するまで、病棟内 でお待ち下さい。 	医師が手術の経過について説明 します。 尿道に管が入っているため、刺激 で尿意や便意を感じたり、尿道の 痛みを感じる事があります。その ような症状が出た時は、我慢せず 看護師に知らせてください。 弾性ストッキングを履きます。 	歩行開始したら弾性ストッキングは 脱ぎます。 退院後、夕方から抗菌剤の内服が 始まります。 尿の管を抜いた後は、尿意を感じ づらくなるため、1時間以内に尿意 に関係なくトイレに行ってください。 血尿が出たり、排尿時に痛みが伴う ことがあります。 症状が強いときはお知らせください。
確認事項 その他	自宅で飲まれていた薬を確認 します。 入院時に全てお持ち下さい。				退院前日に概算をお知らせします。 次回外来日、中止していた抗凝固 薬の開始日をお知らせします。

* 状況に応じて予定が変更になる場合もありますので、ご不明な点がございましたらお尋ね下さい。

